



CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトの設定

この章は、次の項で構成されています。

- [CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトについて \(1 ページ\)](#)
- [CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトの注意事項と制約事項 \(3 ページ\)](#)
- [CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトの設定 \(5 ページ\)](#)
- [CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイト \(15 ページ\)](#)
- [CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトの統計情報の表示 \(21 ページ\)](#)
- [CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトの設定例 \(22 ページ\)](#)
- [VIP を使用するマルチサイトから PIP を使用するマルチサイトへの移行 \(24 ページ\)](#)
- [既存の vPC BGW の移行 \(25 ページ\)](#)
- [Cloudsec の vPC ボーダー ゲートウェイのサポート \(25 ページ\)](#)
- [vPC BGW CloudSec 展開の拡張コンバージェンス \(27 ページ\)](#)
- [PSK CloudSec 構成から証明書ベース認証 CloudSec 構成への移行 \(28 ページ\)](#)

CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトについて

CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトは、VXLAN ベースのマルチサイトファブリックのデータセキュリティとデータ整合性を保証します。この機能は、UDP パケットの IEEE MACsec の暗号化メカニズムを使用して、許可された VXLAN EVPN エンドポイント間にセキュアなトンネルを提供します。

CloudSec セッションは、2つの異なるサイトのボーダー ゲートウェイ (BGW) 間の DCI を介したポイントツーポイントです。サイト間のすべての通信は、VIP の代わりにマルチサイト PIP を使用します。移行情報の詳細については、[VIP を使用するマルチサイトから PIP を使用するマルチサイトへの移行 \(24 ページ\)](#) を参照してください。

CloudSec を使用したセキュア VXLAN EVPN マルチサイトが、ピアごとに有効になっていることを確認します。CloudSec をサポートしないピアは、CloudSec をサポートするピアと動作できますが、トラフィックは暗号化されません。CloudSec 非対応サイトから CloudSec 対応サイトへの移行中のみ、暗号化されていないトラフィックを許可することをお勧めします。

CloudSec キー交換では BGP が使用され、MACsec では MACsec Key Agreement (MKA) が使用されます。CloudSec コントロールプレーンは、BGP IPv4 アドレス ファミリーをキー情報の交換に使用します。CloudSec キーは、アンダーレイ BGP セッションを使用する BGP IPv4 ルートのトンネルカプセル化 (トンネルタイプ 18) 属性の一部として伝送されます。

キー ライフタイムおよびヒットレス キー ロールオーバー

CloudSec キー チェーンには、キー ID とオプションのライフタイムが設定された複数の事前共有キー (PSK) を含めることができます。事前共有キーは、トラフィックの暗号化と整合性検証のためにさらにキーを取得するために使用されるシードキーです。事前共有キーのリストは、異なるライフタイムを持つキーチェーンで設定できます。

キーのライフタイムには、キーが期限切れになる時刻が指定されます。ライフタイムが設定されている場合、ライフタイムの期限が切れた後に、MKA はキー チェーン内の次に設定された事前共有キーにロールオーバーします。キーのタイムゾーンは、ローカルまたは UTC を指定できます。デフォルトの時間帯は UTC です。ライフタイム設定が存在しない場合は、無期限のデフォルト ライフタイムが使用されます。

CloudSec キー チェーンを設定するには、[CloudSec キーチェーンとキーの設定 \(8 ページ\)](#) を参照してください。

最初のキーのライフタイムが期限切れになると、リスト内の次のキーに自動的にロールオーバーします。同一のキーがリンクの両側で同時に設定されている場合、キーのロールオーバーはヒットレスになります。つまり、キーはトラフィックを中断せずにロールオーバーされます。つまり、トラフィックが中断されることなくキーがロールオーバーされます。キーのライフタイムは、ヒットレス キー ロールオーバーを実現するためにオーバーラップする必要があります。

証明書の有効期限と交換

証明書は、マスター セッション キーの交換に使用されます。証明書の有効期限が切れると、それ以降の MSK キーの再生成は行われません。現在のセキュリティで保護されたセッションは引き続き稼働し、SAK キーの再生成は構成どおりに実行されます。証明書はトラストポイントの下から削除する必要があり、さらに MSK キー再生成を実行するには、新しい証明書をインポートする必要があります。

CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトの注意事項と制約事項

CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトには、次の注意事項と制約事項があります。

- Cisco NX-OS リリース 10.2(2)F 以降、vPC ボーダー ゲートウェイは Cisco Nexus 9300-FX2、-FX3 スイッチでサポートされます。
- CloudSec を使用しているセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトは、Cisco NX-OS リリース 9.3(5) 以降 Cisco Nexus 9300-FX2 プラットフォーム スイッチでサポートされます。
- CloudSec を使用しているセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトは、Cisco NX-OS リリース 10.1(1) 以降から Cisco Nexus 9300-FX3 プラットフォーム スイッチでサポートされます。
- L3 インターフェイスおよび L3 ポートチャネルは DCI リンクとしてサポートされます。
- スイッチ宛ての CloudSec トラフィックは、DCI アップリンクを介してスイッチに入る必要があります。
- CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトは、ルートサーバ経由で接続されているサイト、またはフル メッシュ（ルート サーバなし）を使用して接続されているサイトでサポートされます。ルート サーバを介して接続されているサイトの場合は、サーバを Cisco NX-OS リリース 9.3(5) 以降のリリースにアップグレードし、[CloudSec VXLAN EVPN トンネル暗号化の有効化（5 ページ）](#) の手順に従います。
- Cisco NX-OS リリース 10.1(1) 以降、VXLAN トンネル暗号化機能は Cisco Nexus 9300-FX3 プラットフォーム スイッチでサポートされます。
- VXLAN トンネル暗号化機能は、Cisco Nexus 9348GC-FX3、9348GC-FX3PH、および 9332D-H2R、93400LD-H1、9364C-H1 スイッチでサポートされません。
- ICV は、Cisco NX-OS リリース 9.3(7) ではデフォルトで無効になっています。以前のリリース（Cisco NX-OS リリース 9.3(6)）のノードと cloudsec トンネルセッションを形成する場合は、ノードで ICV を無効にする必要があります。
- Cisco NX-OS リリース 10.3.3 以降、VXLAN トンネル暗号化機能は、事前共有キー（PSK）または公開キー インフラストラクチャ（PKI）を使用した証明書を使用して構成できます。
- CloudSec を使用して、同じサイト上のすべての BGW をセキュア VXLAN EVPN マルチサイト用に設定する必要があります。
- DCI リンクで CloudSec を使用するセキュア VXLAN EVPN マルチサイトと、内部ファブリックで MACsec を共存させることができます。ただし、同じポートまたはポートグループ（MAC ID）で同時に有効にすることはできません。
- CloudSec ピアを使用するセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトは、それらの間のセキュアなトラフィックを復号化するために同じキー チェーン設定を持つ必要があります。

- Cisco Nexus 9300-FX2 ファミリー スイッチのセキュリティ キー配布の BGP IPv4 アップデートでは、最大 60 のピアがサポートされます。
- Cisco NX-OS リリース 10.2(3) 以降、セキュリティ キー配布の BGP IPv4 アップデートは Cisco Nexus 9300-FX3 プラットフォーム スイッチでサポートされます。
- アクティブタイマーが設定されたすべてのキーが期限切れになったときにセッションを維持するには、キーチェーンごとにライフタイムなしで1つのキーだけを設定します。ベストプラクティスとして、キーごとにライフタイムを設定することを推奨します。
- CloudSec キーは、アンダーレイ BGP セッションを使用する BGP IPv4 ルートでトンネルカプセル化属性を使用して BGW間で交換されます。

この属性が中間ノードによって伝播されない場合は、CloudSec エンドポイント ノード、つまり BGW間で直接 BGP IPv4 ユニキャストセッションを設定する必要があります。
- 次の場合、各サイトの BGW 間で直接 eBGP ピアリングを確立する必要があります。
 - BGP は IPv4 ユニキャストルーティングプロトコルとして使用されますが、トンネル暗号化属性は DCI を介して伝播されません。
 - BGP 以外のルーティングプロトコルは、DCI の IPv4 ユニキャストルーティングに使用されます (OSPF など)。
- eBGP ピアリングは、次のインターフェイスとは異なるループバック インターフェイスを介して確立されます。
 - tunnel-encryption source-interface
 - nve source-interface
- eBGP ピアリングは、隣接関係の送信元として使用されるループバック IP をフィルタリングする必要があります。たとえば、Loopback10 を使用して CloudSec の eBGP ピアリングを確立する場合、Lo10 の IP はこの隣接関係でアドバタイズされません。
- CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトは、次をサポートします。
 - ボーダー ゲートウェイ上の直接接続された L2 ホスト
 - DCI インターフェイスの IP アドレス設定
 - マルチキャスト アンダーレイ
 - OAM パストレース
 - TRM
 - ボーダー ゲートウェイの VIP 専用モデル
 - ダウンストリーム VNI を使用した VXLAN EVPN
- Cisco NX-OS リリース 10.3(1) 以降、DSVNI を使用する vPC cloudsec は Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチでサポートされません。

- CloudSec が有効になっている場合、非中断の ISSU はサポートされません。
- Cloudsec PKI の展開では、異なる証明書タイプ (SUDI、サードパーティ RSA、サードパーティ ECC) を混在させることはできません。すべてのノードに同じタイプの証明書が必要です
- 異なる RSA キーサイズを持つノードは、暗号化/復号化に互換性があります。
- PSK セッションと PKI セッションは、展開内で共存できません。
- 証明書のサイズは 1.5 KB (2048 ビット キー サイズ) を超えることはできません。
- MCT レス VPC BGW はサポートされていません。
- 異なる証明書タイプ間の移行は、`should-secure` に移行し、すべての参加ノードからトラストポイント構成を削除してから、すべてのノードで新しいトラストポイントを構成することで実行できます。
- **feature tunnel-encryption** コマンドを使用して Cloudsec を最初に有効にすると、vPC ピア リンク ポートチャネルとその物理メンバー インターフェイスがフラップします。

CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトの設定

CloudSec を使用してセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトを設定するには、次の手順に従います。

CloudSec VXLAN EVPN トンネル暗号化の有効化

CloudSec VXLAN EVPN トンネル暗号化を有効にするには、次の手順を実行します。

始める前に

IPv4 ユニキャストアドレスファミリで BGP ピアを設定します。IPv4 プレフィックスが CloudSec キーを伝送するトンネル コミュニティ属性とともに伝播されていることを確認します。

VXLAN EVPN マルチサイトを設定し、次のコマンドを使用して、CloudSec VXLAN EVPN トンネル暗号化のピア IP アドレスをアドバタイズします。

```
evpn multisite border-gateway ms-id  
dci-advertise-pip
```



注意 `dci-advertise-pip` なしで VXLAN EVPN マルチサイトを設定すると、ボーダー ゲートウェイを VIP 専用モードに戻します。これは CloudSec VXLAN EVPN トンネル暗号化ではサポートされません。

ルートサーバを介して接続されているサイトには、次の2つのオプションがあります。

- デュアル RD を有効にする：このデフォルトの動作により、メモリが限られたリーフデバイスを処理するために、以前のリリースと同じメモリスケールが維持されます。すべての同一サイト BGW は、リモート BGW に EVPN ルートをアドバタイズする間、再発信ルートに同じ RD 値を使用します。
- デュアル RD の無効化：リーフデバイスのメモリ制限がない場合は、BGW で **no dual rd** コマンドを設定できます。EVPN ルートをリモート BGW にアドバタイズする間、同じ BGW で再発信されたルートに異なる RD 値が使用されます。

BGW でデュアル RD が有効になっているかどうかに応じて、次のいずれかの操作を実行します。

- デュアル RD が BGW で設定されている場合は、次の手順を実行します。

1. BGW に BGP 追加パスを適用します。

```
router bgp as-num
  address-family l2vpn evpn
    maximum-paths number
  additional-paths send
  additional-paths receive
```

2. BGW で各 L3VNI VRF のマルチパスを設定します。

```
vrf evpn-tenant-00001
  address-family ipv4 unicast
    maximum-paths 64
  address-family ipv6 unicast
    maximum-paths 64
```

3. ルートサーバに BGP 追加パスを適用します。

```
router bgp as-num
  address-family l2vpn evpn
    retain route-target all
  additional-paths send
  additional-paths receive
  additional-paths selection route-map name
```

```
route-map name permit 10
  set path-selection all advertise
```

- **no dual rd** が BGW で設定されている場合、またはフルメッシュが設定されている場合は、次の手順を実行します。

1. BGW でアドレスファミリと最大パスを設定します。

```
router bgp as-num
  address-family l2vpn evpn
    maximum-paths number
```

2. BGW で各 L3VNI VRF のマルチパスを設定します。

```
vrf evpn-tenant-00001
  address-family ipv4 unicast
    maximum-paths 64
  address-family ipv6 unicast
    maximum-paths 64
```



(注) BGP 追加パスは、ルートサーバでは必要ありません。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **[no] feature tunnel-encryption**
3. **[no] tunnel-encryption source-interface loopback *number***
4. **tunnel-encryption icv**
5. (任意) **copy running-config startup-config**

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例 : <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル設定モードを開始します。
ステップ 2	[no] feature tunnel-encryption 例 : <pre>switch(config)# feature tunnel-encryption</pre>	CloudSec VXLAN EVPN トンネル暗号化を有効にします。
ステップ 3	[no] tunnel-encryption source-interface loopback <i>number</i> 例 : <pre>switch(config)# tunnel-encryption source-interface loopback 2</pre>	<p>トンネルの送信元をループバック インターフェイスとして BGP ループバックを指定します。設定された送信元インターフェイスの IP アドレスは、CloudSec VXLAN EVPN トンネル暗号化キー ルートを通知するためのプレフィックスとして使用されます。</p> <p>(注) NVE 送信元インターフェイスではなく、BGP ループバック インターフェイスを入力します。</p> <p>(注) MTU の変更は、インターフェイスのトンネル暗号化設定の前に行う必要があります。これにより、CRC ドロップ エラーが回避されます。</p>

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	tunnel-encryption icv 例： <pre>switch(config)# tunnel-encryption icv</pre>	Integrity Check Value (ICV) を有効にします。ICV は、ポートに到着するフレームの整合性チェックを行います。生成されたICVがフレーム内のICVと同じであれば、そのフレームは受け入れられ、同じでなければ破棄されます。これは、Cisco NX-OS リリース 9.3(7) 以降、サポートされます。
ステップ 5	(任意) copy running-config startup-config 例： <pre>switch(config)# copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

次のタスク

CloudSec VXLAN EVPN トンネル暗号化を有効にした後、次の認証手順のいずれかを実行できます。

[CloudSec キーチェーンとキーの設定。](#)

または

[PKI を使用した CloudSec 証明書ベースの認証構成 \(10 ページ\)](#)

CloudSec キーチェーンとキーの設定

デバイスに CloudSec キーチェーンとキーを作成できます。

始める前に

CloudSec を使用したセキュア VXLAN EVPN マルチサイトが有効になっていることを確認します。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **[no] key chain name tunnel-encryption**
3. **[no] key key-id**
4. **[no] key-octet-string octet-string cryptographic-algorithm {AES_128_CMAC | AES_256_CMAC}**
5. **[no] send-lifetime start-time duration duration**
6. (任意) **show key chain name**
7. (任意) **copy running-config startup-config**

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： switch# configure terminal switch(config)#	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	[no] key chain name tunnel-encryption 例： switch(config)# key chain kc1 tunnel-encryption switch(config-tunnelencryptkeychain)#	CloudSec キーチェーンを作成して CloudSec キーのセットを保持し、トンネル暗号化キーチェーン設定モードを開始します。
ステップ 3	[no] key key-id 例： switch(config-tunnelencryptkeychain)# key 2000 switch(config-tunnelencryptkeychain-tunnelencryptkey)#	CloudSec キーを作成し、トンネル暗号化キー設定モードを開始します。範囲は 1~32 オクテットで、最大サイズは 64 です。 (注) キーの文字数は偶数でなければなりません。
ステップ 4	[no] key-octet-string octet-string cryptographic-algorithm {AES_128_CMAC AES_256_CMAC} 例： switch(config-tunnelencryptkeychain-tunnelencryptkey)# key-octet-string abcdef0123456789abcdef0123456789abcdef0123456789abcdef0123456789 cryptographic-algorithm AES_256_CMAC	そのキーの octet スtring を設定します。octet-string 引数には、最大 64 文字の 16 進数文字を含めることができます。octet キーは内部でエンコードされるため、クリア テキストのキーは show running-config tunnel-encryption コマンドの出力に表示されません。
ステップ 5	[no] send-lifetime start-time duration duration 例： switch(config-tunnelencryptkeychain-tunnelencryptkey)# send-lifetime 00:00:00 May 06 2020 duration 100000	キーの送信ライフタイムを設定します。デフォルトでは、デバイスは開始時間を UTC として扱います。 <i>start-time</i> 引数は、キーがアクティブになる日時です。 <i>duration</i> 引数はライフタイムの長さ (秒) です。範囲は 1800~2147483646 秒 (約68年) です。
ステップ 6	(任意) show key chain name 例： switch(config-tunnelencryptkeychain-tunnelencryptkey)# show key chain kc1	キーチェーンの設定を表示します。
ステップ 7	(任意) copy running-config startup-config 例： switch(config-tunnelencryptkeychain-tunnelencryptkey)# copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

次のタスク

[CloudSec ポリシーの設定。](#)

PKI を使用した CloudSec 証明書ベースの認証構成

この章は、次の項で構成されています。

CloudSec への証明書のアタッチ

Cisco NX-OS デバイスとトラストポイント CA を関連付ける必要があります。Cisco NX-OS は、RSA アルゴリズムおよび ECC (224 および 521 ビット) アルゴリズム証明書をサポートします。トラストポイントまたは Secure Unique Device Identifier (SUDI) を cloudsec に関連付けるには、次の手順に従います。ユーザーは、次のいずれかのコマンドを実行する必要があります。

始める前に

トラストポイントを構成し、有効な証明書をインストールまたはインポートする方法については、「[PKI の構成](#)」を参照してください。

手順の概要

1. `tunnel-encryption pki trustpoint name`
2. `tunnel-encryption pki sudi name`

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<code>tunnel-encryption pki trustpoint name</code> 例 : <pre>switch# tunnel-encryption pki trustpoint myCA_2K switch(config)#</pre>	トラストポイントをクラウドセキュリティに関連付けます。または、ステップ 2 のコマンドを実行します。データトラフィックが中断されるため、トラストポイントラベルの動的な変更は実行できません。
ステップ 2	<code>tunnel-encryption pki sudi name</code> 例 : <pre>switch(config)# tunnel-encryption pki sudi switch(config-trustpoint)#</pre>	SUDI をクラウドセキュリティに関連付けます。 (注) Cisco デバイスには、Secure Unique Device Identifier (SUDI) 証明書と呼ばれる一意の識別子があります。このハードウェア証明書は、ステップ 1 の代わりに利用できます。

個別のループバック

PKI ループバックを構成するには、次のいずれかの手順を実行します。

手順の概要

1. **tunnel-encryption pki source-interface** *loopback*
2. **tunnel-encryption pki source-interface cloudsec-loopback**

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	tunnel-encryption pki source-interface <i>loopback</i> 例： <pre>switch# tunnel-encryption pki source-interface loopback0 switch(config)#</pre>	個別のループバックを構成します。または、ステップ 2 のコマンドを実行します。
ステップ 2	tunnel-encryption pki source-interface cloudsec-loopback 例： <pre>switch(config)# tunnel-encryption pki source-interface cloudsec-loopback</pre>	cloudsec 送信元インターフェイスループバックと同じループバックを使用します。

CloudSec ポリシーの設定

異なるパラメータを使用して複数の CloudSec ポリシーを作成できます。しかし、1つのインターフェイスでアクティブにできるポリシーは1つのみです。

始める前に

CloudSec を使用したセキュア VXLAN EVPN マルチサイトが有効になっていることを確認します。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. (任意) **[no] tunnel-encryption must-secure-policy**
3. **[no] tunnel-encryption policy** *name*
4. (任意) **[no] cipher-suite** *name*
5. (任意) **[no] window-size** *number*
6. (任意) **[no] sak-rekey-time** *time*
7. (任意) **show tunnel-encryption policy**
8. (任意) **copy running-config startup-config**

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： switch# configure terminal switch(config)#	グローバル設定モードを開始します。
ステップ 2	(任意) [no] tunnel-encryption must-secure-policy 例： switch(config)# tunnel-encryption must-secure-policy	暗号化されていないパケットがセッションの回線を介して送信されないようにします。CloudSec ヘッダーを伝送しないパケットはドロップされます。 このコマンドの no 形式は、暗号化されていないトラフィックを許可します。CloudSec 非対応サイトから CloudSec 対応サイトへの移行中にのみ、暗号化されていないトラフィックを許可することをお勧めします。デフォルトでは、CloudSec を使用するセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトは「セキュア」モードで動作することが必要です。
ステップ 3	[no] tunnel-encryption policy name 例： switch(config)# tunnel-encryption policy p1 switch(config-tunenc-policy)#	CloudSec ポリシーを作成します。
ステップ 4	(任意) [no] cipher-suite name 例： switch(config-tunenc-policy)# cipher-suite GCM-AES-XPB-256	GCM-AES-XPB-128 または GCM-AES-XPB-256 のいずれかを設定します。デフォルト値は GCM-AES-XPB-256 です。
ステップ 5	(任意) [no] window-size number 例： switch(config-tunenc-policy)# window-size 134217728	インターフェイスが設定されたウィンドウサイズ未満のパケットを受け入れないように、再生保護ウィンドウを設定します。範囲は 134217728～1073741823 IP パケットです。デフォルト値は 268435456 です。
ステップ 6	(任意) [no] sak-rekey-time time 例： switch(config-tunenc-policy)# sak-rekey-time 1800	SAK キー再生成を強制する時間を秒単位で設定します。このコマンドを使用して、セッションキーを予測可能な時間間隔に変更できます。有効な範囲は 1800～2592000 秒です。デフォルト値はありません。すべてのピアに同じキー再作成値を使用することを推奨します。
ステップ 7	(任意) show tunnel-encryption policy 例：	CloudSec ポリシー設定を表示します。

	コマンドまたはアクション	目的
	<code>switch(config-tunenc-policy)# show tunnel-encryption policy</code>	
ステップ 8	(任意) copy running-config startup-config 例： <code>switch(config-tunenc-policy)# copy running-config startup-config</code>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

次のタスク

[CloudSec ピアの設定](#)

CloudSec ピアの設定

この章は、次の内容で構成されています。

CloudSec ピアの設定

CloudSec ピアを設定できます。

始める前に

CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイト

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **[no] tunnel-encryption peer-ip peer-ip-address**
3. **[no] keychain name policy name**
4. **pki policy policy name**

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： <code>switch# configure terminal</code> <code>switch(config)#</code>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	[no] tunnel-encryption peer-ip peer-ip-address 例： <code>switch(config)# tunnel-encryption peer-ip 33.1.33.33</code>	ピアの NVE 送信元インターフェイスの IP アドレスを指定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	[no] keychain name policy name 例： switch(config)# keychain kc1 policy p1	CloudSec ピアにポリシーをアタッチします。ステップ 4 は、このステップの代わりに使用できます。
ステップ 4	pki policy policy name 例： switch(config)# pki policy p1	PKI を使用してピアに cloudsec ポリシーをアタッチしています。

次のタスク

[DCI アップリンクで CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトを有効にする](#)

DCI アップリンクで CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトを有効にする

すべての DCI アップリンクで CloudSec を使用してセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトを有効にするには、次の手順に従います。



(注) この設定は、レイヤ 2 ポートには適用できません。



(注) CloudSec が動作中の DCI アップリンクに適用または削除されると、リンクがフラップします。リンクが数秒間ダウンしたままになる可能性があるため、瞬間的なフラップであるとは限りません。

始める前に

CloudSec を使用したセキュア VXLAN EVPN マルチサイトが有効になっていることを確認します。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **[no] interface ethernet port/slot**
3. **[no] tunnel-encryption**

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： switch# configure terminal switch(config)#	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	[no] interface ethernet port/slot 例： switch(config)# interface ethernet 1/1 switch(config-if)#	インターフェイス設定モードを開始します。
ステップ 3	[no] tunnel-encryption 例： switch(config-if)# tunnel-encryption	指定したインターフェイスで CloudSec を使用してセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトを有効にします。

CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイト

CloudSec 設定情報を使用してセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトを表示するには、以下のタスクのいずれかを実行します。

コマンド	目的
show tunnel-encryption info global	CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトの設定情報を表示します。
show tunnel-encryption policy [policy-name]	特定の CloudSec ポリシーまたはすべての CloudSec ポリシーの設定を表示します。
show tunnel-encryption session [peer-ip peer-ip-address] [detail]	エンドポイント間のセッションがセキュアかどうかなど、CloudSec セッションに関する情報を表示します。
show running-config tunnel-encryption	CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトの実行中の設定報を表示します。
show bgp ipv4 unicast ip-address	BGP ルートのトンネル暗号化情報を表示します。

コマンド	目的
show bgp l2vpn evpn	レイヤ 2 VPN EVPN アドレス ファミリとルーティング テーブル情報を表示します。
show ip route ip-address vrf vrf	VRF ルートを表示します。
show l2route evpn mac evi evi	レイヤ 2 ルート情報を表示します。
show nve interface interface detail	NVE インターフェイスの詳細を表示します。
show running-config rpm	実行中の設定でキー テキストを表示します。 (注) key-chain tunnelencrypt-psk no-show コマンドを実行する前にコマンドを入力すると、キー テキストは実行中の設定で非表示になります (アスタリスク付き)。 reload ascii コマンドを入力すると、キー テキストは実行中の設定から省略されます。
show running-config cert-enroll	トラストポイントとキーペアの構成を表示します。
show crypto ca certificates <trustpoint_label>	トラストポイントの証明書の内容を表示します。

次の例では、CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトの設定情報を表示します。

```
switch# show tunnel-encryption info global
Global Policy Mode: Must-Secure
SCI list: 0000.0000.0001.0002 0000.0000.0001.0004
No. of Active Peers      : 1
```

次に、設定されているすべての CloudSec ポリシーを表示する例を示します。出力には、各ポリシーの暗号、ウィンドウ サイズ、および SAK 再試行時間が表示されます。

```
switch# show tunnel-encryption policy
Tunnel-Encryption Policy  Cipher          Window         SAK Rekey time
-----
cloudsec                   GCM-AES-XPN-256 134217728     1800
p1                          GCM-AES-XPN-256 1073741823
system-default-tunenc-policy GCM-AES-XPN-256 268435456
```

次の例では、CloudSec セッションに関する情報を表示します。出力には、ピアの IP アドレスとポリシー、使用可能なキーチェーン、およびセッションがセキュアかどうかを示されます。

```
switch# show tunnel-encryption session
Tunnel-Encryption Peer Policy Keychain RxStatus TxStatus
-----
33.1.33.33         p1          kc1      Secure (AN: 0) Secure (AN: 2)
33.2.33.33         p1          kc1      Secure (AN: 0) Secure (AN: 2)
```



```

33.3.33.33      p1      kc1      Secure (AN: 0)  Secure (AN: 2)
44.1.44.44      p1      kc1      Secure (AN: 0)  Secure (AN: 0)
44.2.44.44      p1      kc1      Secure (AN: 0)  Secure (AN: 0)

```

次の例は、PKI 証明書トラストポイントに基づく Cloudsec セッションに関する情報を表示しています。

```

switch# sh tunnel-encryption session
Tunnel-Encryption Peer Policy Keychain
RxStatus TxStatus
-----
20.20.20.2          p1          Secure (AN: 0)  Secure (AN: 0)  PKI: myCA (RSA)
Secure (AN: 0)
32.11.11.4          p1          Secure (AN: 0)  Secure (AN: 0)  PKI: myCA (RSA)
Secure (AN: 0)

```

次に、BGP ルートのトンネル暗号化情報の例を示します。

```

switch# show bgp ipv4 unicast 199.199.199.199 □ Source-loopback configured on peer BGW
for CloudSec
BGP routing table information for VRF default, address family IPv4 Unicast
BGP routing table entry for 199.199.199.199/32, version 109
Paths: (1 available, best #1)
Flags: (0x8008001a) (high32 0x000200) on xmit-list, is in urib, is best urib route, is
in HW
Multipath: eBGP

  Advertised path-id 1
  Path type: external, path is valid, is best path, no labeled nexthop, in rib
  AS-Path: 1000 200 , path sourced external to AS
    89.89.89.89 (metric 0) from 89.89.89.89 (89.89.89.89)
      Origin IGP, MED not set, localpref 100, weight 0
      Tunnel Encapsulation attribute: Length 120

  Path-id 1 advertised to peers:
    2.2.2.2

```

次の例は、MAC が仮想 ESI に接続されているかどうかを示しています。

```

switch(config)# show bgp l2vpn evpn 0012.0100.000a
BGP routing table information for VRF default, address family L2VPN EVPN
Route Distinguisher: 110.110.110.110:32876
BGP routing table entry for [2]:[0]:[0]:[48]:[0012.0100.000a]:[0]:[0.0.0.0]/216, version
13198
Paths: (1 available, best #1)
Flags: (0x000202) (high32 00000000) on xmit-list, is not in l2rib/evpn, is not in HW
Multipath: eBGP

  Advertised path-id 1
  Path type: external, path is valid, is best path, no labeled nexthop
    Imported to 1 destination(s)
    Imported paths list: l2-10109
  AS-Path: 1000 200 , path sourced external to AS
    10.10.10.10 (metric 0) from 89.89.89.89 (89.89.89.89)
      Origin IGP, MED not set, localpref 100, weight 0
      Received label 10109
      Extcommunity: RT:100:10109 ENCAP:8
      ESI: 0300.0000.0000.0200.0309

  Path-id 1 not advertised to any peer

Route Distinguisher: 199.199.199.199:32876

```

```

BGP routing table entry for [2]:[0]:[0]:[48]:[0012.0100.000a]:[0]:[0.0.0.0]/216, version
 24823
Paths: (1 available, best #1)
Flags: (0x000202) (high32 00000000) on xmit-list, is not in l2rib/evpn, is not in HW
Multipath: eBGP

  Advertised path-id 1
    Path type: external, path is valid, is best path, no labeled nexthop
      Imported to 1 destination(s)
      Imported paths list: l2-10109
    AS-Path: 1000 200 , path sourced external to AS
      9.9.9.9 (metric 0) from 89.89.89.89 (89.89.89.89)
      Origin IGP, MED not set, localpref 100, weight 0
      Received label 10109
      Extcommunity: RT:100:10109 ENCAP:8
      ESI: 0300.0000.0000.0200.0309

  Path-id 1 not advertised to any peer

```

次に、リモートサイトから受信した EVPN タイプ 5 ルート用に作成された ECMP の例を示します。

```

switch(config)# show ip route 205.205.205.9 vrf vrf903
IP Route Table for VRF "vrf903"
'*' denotes best ucast next-hop
 '**' denotes best mcast next-hop
 '[x/y]' denotes [preference/metric]
 '%<string>' in via output denotes VRF <string>

205.205.205.9/32, ubest/mbest: 2/0
  *via 9.9.9.9%default, [20/0], 11:06:32, bgp-100, external, tag 1000, segid: 900003
  tunnelid: 0x9090909 encap: VXLAN

  *via 10.10.10.10%default, [20/0], 3d05h, bgp-100, external, tag 1000, segid: 900003
  tunnelid: 0xa0a0a0a encap: VXLAN

```

次の例は、リモートサイトから受信した MAC に ESI ベースの MAC マルチパスが設定されているかどうかを示しています。

```

switch(config)# show l2route evpn mac evi 109 mac 0012.0100.000a detail

Flags -(Rmac):Router MAC (Stt):Static (L):Local (R):Remote (V):vPC link
(Dup):Duplicate (Spl):Split (Rcv):Recv (AD):Auto-Delete (D):Del Pending
(S):Stale (C):Clear, (Ps):Peer Sync (O):Re-Originated (Nho):NH-Override
(Pf):Permanently-Frozen, (Orp): Orphan

Topology Mac Address   Prod  Flags  Seq No Next-Hops
-----
109      0012.0100.000a BGP   SplRcv 0           9.9.9.9 (Label: 10109)
                                     10.10.10.10 (Label: 10109)

Route Resolution Type: ESI
Forwarding State: Resolved (PL)
Resultant PL: 9.9.9.9, 10.10.10.10
Sent To: L2FM
ESI : 0300.0000.0000.0200.0309
Encap: 1

```

次の例は、PIPを使用した VXLAN EVPN マルチサイトが設定されていることを示しています。

```

switch(config)# show nve interface nve1 detail
Interface: nve1, State: Up, encapsulation: VXLAN

```

```
VPC Capability: VPC-VIP-Only [not-notified]
Local Router MAC: 700f.6a15.c791
Host Learning Mode: Control-Plane
Source-Interface: loopback0 (primary: 14.14.14.14, secondary: 0.0.0.0)
Source Interface State: Up
Virtual RMAC Advertisement: No
NVE Flags:
Interface Handle: 0x49000001
Source Interface hold-down-time: 180
Source Interface hold-up-time: 30
Remaining hold-down time: 0 seconds
Virtual Router MAC: N/A
Virtual Router MAC Re-origination: 0200.2e2e.2e2e
Interface state: nve-intf-add-complete
Multisite delay-restore time: 180 seconds
Multisite delay-restore time left: 0 seconds
Multisite dci-advertise-pip configured: True
Multisite bgw-if: loopback1 (ip: 46.46.46.46, admin: Up, oper: Up)
Multisite bgw-if oper down reason:
```

次の例は、実行中の設定のキーテキストを示しています。**key-chain tunnelencrypt-psk no-show** コマンドを入力すると、キーテキストは非表示になります。

```
switch# show running-config rpm
!Command: show running-config rpm
!Running configuration last done at: Mon Jun 15 14:41:40 2020
!Time: Mon Jun 15 15:10:27 2020

version 9.3(5) Bios:version 05.40
key chain inter tunnel-encryption
  key 3301
    key-octet-string 7
075f79696a58405441412e2a577f0f077d6461003652302552040a0b76015a504e370c
7972700604755f0e22230c03254323277d2f5359741a6b5d3a5744315f2f cryptographic-algorithm
AES_256_CMAC
key chain kcl tunnel-encryption
  key 3537
    key-octet-string 7
072c746f172c3d274e33592e22727e7409106d003725325758037800777556213d4e0c7c00770576772
d08515e0804553124577f5a522e046d6a5f485c35425f59 cryptographic-algorithm AES_256_CMAC
  send-lifetime local 09:09:40 Apr 15 2020 duration 1800
  key 2001
    key-octet-string 7
075f79696a58405441412e2a577f0f077d6461003652302552040a0b76015a504e370c7972700604755
f0e22230c03254323277d2f5359741a6b5d3a5744315f2f cryptographic-algorithm AES_256_CMAC
  key 2065
    key-octet-string 7
0729791f6f5e3d213347292d517308730c156c7737223554270f787c07722a513e450a0a0703070c062
e0256210d0e204120510d29222a051f1e594c2135375359 cryptographic-algorithm AES_256_CMAC
  key 2129
    key-octet-string 7
075c796f6f2a4c2642302f5c56790e767063657a4b564f2156777c0a020228564a32780e0472007005530
c5e560f04204056577f2a222d056d1f5c4c533241525d cryptographic-algorithm AES_256_CMAC
  key 2193
    key-octet-string 7
07577014195b402336345a5f260f797d7d6264044b50415755047a7976755a574d350b7e720a0202715d7
a50530d715346205d0c2d525c001f6b5b385046365a29 cryptographic-algorithm AES_256_CMAC

switch# configure terminal
switch(config)# key-chain tunnelencrypt-psk no-show
switch(config)# show running-config rpm

!Command: show running-config rpm
```

```

!Running configuration last done at: Mon Jun 15 15:10:44 2020
!Time: Mon Jun 15 15:10:47 2020

version 9.3(5) Bios:version 05.40
key-chain tunnelencrypt-psk no-show
key chain inter tunnel-encryption
  key 3301
    key-octet-string 7 ***** cryptographic-algorithm AES_256_CMAC
key chain kcl tunnel-encryption
  key 3537
    key-octet-string 7 ***** cryptographic-algorithm AES_256_CMAC
    send-lifetime local 09:09:40 Apr 15 2020 duration 1800
  key 2001
    key-octet-string 7 ***** cryptographic-algorithm AES_256_CMAC
  key 2065
    key-octet-string 7 ***** cryptographic-algorithm AES_256_CMAC
  key 2129
    key-octet-string 7 ***** cryptographic-algorithm AES_256_CMAC
  key 2193
    key-octet-string 7 ***** cryptographic-algorithm AES_256_CMAC

```

次の例は、トラストポイントとキーペアの設定を示しています。

```

switch# show running-config cert-enroll
!Command: show running-config cert-enroll
!Running configuration last done at: Fri Apr 21 10:53:30 2023
!Time: Fri Apr 21 12:07:31 2023

version 10.3(3) Bios:version 05.47
crypto key generate rsa label myRSA exportable modulus 1024
crypto key generate rsa label myKey exportable modulus 1024
crypto key generate rsa label tmpCA exportable modulus 2048
crypto key generate ecc label src15_ECC_key exportable modulus 224
crypto ca trustpoint src15_ECC_CA
  ecckeypair switch_ECC_key and so on
  revocation-check crl
crypto ca trustpoint myRSA
  rsakeypair myRSA
  revocation-check crl
crypto ca trustpoint tmpCA
  rsakeypair tmpCA
  revocation-check crl
crypto ca trustpoint myCA
  rsakeypair myKey
  revocation-check crl

```

次の例は、トラストポイント下での証明書コンテンツを示しています。

```

switch(config)# show crypto ca certificates myCA
Trustpoint: myCA
certificate:
subject=CN = switch, serialNumber = FBO22411ABC
issuer=C = US, ST = CA, L = San Jose, O = Org, OU = EN, CN = PKI, emailAddress =
abc@xyz.com
serial=2F24FCE6823FCBE5A8AC72C82D0E8E24EB327B0C
notBefore=Apr 19 19:43:48 2023 GMT
notAfter=Aug 31 19:43:48 2024 GMT
SHA1 Fingerprint=D0:F8:1E:32:6E:6D:44:21:6B:AE:92:69:69:AD:88:73:69:76:B9:18
purposes: sslserver sslclient

CA certificate 0:
subject=C = US, ST = CA, L = San Jose, O = Org, OU = EN, CN = PKI, emailAddress =
abc@xyz.com
issuer=C = US, ST = CA, L = San Jose, O = Cisco, OU = EN, CN = PKI, emailAddress =

```

```
ca@ca.com
serial=1142A22DDDE63A047DE0829413359362042CCC31
notBefore=Jul 12 13:25:59 2022 GMT
notAfter=Jul 12 13:25:59 2023 GMT
SHA1 Fingerprint=33:37:C6:D5:F1:B3:E1:79:D9:5A:71:30:FD:50:E4:28:7D:E1:2D:A3
purposes: sslserver sslclient
```

CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトの統計情報の表示

次のコマンドを使用して、CloudSec 統計情報を使用してセキュア VXLAN EVPN マルチサイトを表示またはクリアできます。

コマンド	目的
show tunnel-encryption statistics [peer-ip peer-ip-address]	CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトの統計情報を表示します。
clear tunnel-encryption statistics [peer-ip peer-ip-address]	CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトの統計情報をクリアします。

次の例は CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトの統計情報の例を示します。

```
switch# show tunnel-encryption statistics
Peer 16.16.16.16 SecY Statistics:
```

```
SAK Rx Statistics for AN [0]:
Unchecked Pkts: 0
Delayed Pkts: 0
Late Pkts: 0
OK Pkts: 8170598
Invalid Pkts: 0
Not Valid Pkts: 0
Not-Using-SA Pkts: 0
Unused-SA Pkts: 0
Decrypted In-Pkts: 8170598
Decrypted In-Octets: 4137958460 bytes
Validated In-Octets: 0 bytes
```

```
SAK Rx Statistics for AN [3]:
Unchecked Pkts: 0
Delayed Pkts: 0
Late Pkts: 0
OK Pkts: 0
Invalid Pkts: 0
Not Valid Pkts: 0
Not-Using-SA Pkts: 0
Unused-SA Pkts: 0
Decrypted In-Pkts: 0
Decrypted In-Octets: 0 bytes
Validated In-Octets: 0 bytes
```

```
SAK Tx Statistics for AN [0]:
Encrypted Protected Pkts: 30868929
Too Long Pkts: 0
```

```
Untagged Pkts: 0
Encrypted Protected Out-Octets: 15758962530 bytes
```



(注) トンネル暗号化の統計情報で、遅延パケットの増加と同時にトラフィックのドロップが見られる場合は、次のいずれかの理由が考えられます。

- パケットはリプレイ ウィンドウの外で受信されたため、廃棄されています。
- トンネル暗号化ピアが同期していません。
- 実際にセキュリティ リスクがあります。

このような状況では、対応するリモートピアでトンネル暗号化ピアを削除してから再設定し、ピアセッションをリセットして再度同期する必要があります。

CloudSec を使用したセキュアな VXLAN EVPN マルチサイトの設定例

次に、keychain を使用してセキュア VXLAN EVPN マルチサイトを構成する例を示します。

```
key chain kcl tunnel-encryption
key 2006
key-octet-string 7 075f79696a58405441412e2a577f0f077d6461003652302552040
a0b76015a504e370c7972700604755f0e22230c03254323277d2f5359741a6b5d3a5744315f2f
cryptographic-algorithm AES_256_CMAC

feature tunnel-encryption
tunnel-encryption source-interface loopback4
tunnel-encryption must-secure-policy

tunnel-encryption policy p1
  window-size 1073741823

tunnel-encryption peer-ip 11.1.11.11
  keychain kcl policy p1
tunnel-encryption peer-ip 11.2.11.11
  keychain kcl policy p1
tunnel-encryption peer-ip 44.1.44.44
  keychain kcl policy p1
tunnel-encryption peer-ip 44.2.44.44
  keychain kcl policy p1

interface Ethernet1/1
  tunnel-encryption

interface Ethernet1/7
  tunnel-encryption

interface Ethernet1/55
  tunnel-encryption

interface Ethernet1/59
  tunnel-encryption
```

```

evpn multisite border-gateway 111
dcgi-advertise-pip

router bgp 1000
router-id 12.12.12.12
no rd dual
address-family ipv4 unicast
  maximum-paths 10
address-family l2vpn evpn
  maximum-paths 10
vrf vxlan-900101
address-family ipv4 unicast
  maximum-paths 10
address-family ipv6 unicast
  maximum-paths 10

show tunnel-encryption session
Tunnel-Encryption Peer Policy Keychain RxStatus TxStatus
-----
11.1.11.11 p1 kcl Secure (AN: 0) Secure (AN: 2)
11.2.11.11 p1 kcl Secure (AN: 0) Secure (AN: 2)
44.1.44.44 p1 kcl Secure (AN: 0) Secure (AN: 2)
44.2.44.44 p1 kcl Secure (AN: 0) Secure (AN: 2)

```

次に、CloudSec 証明書ベースの認証を使用してセキュア VXLAN EVPN マルチサイトを構成する例を示します。

```

feature tunnel-encryption

tunnel-encryption must-secure-policy
tunnel-encryption pki trustpoint myCA
tunnel-encryption pki source-interface loopback3
tunnel-encryption source-interface loopback2
tunnel-encryption policy with-rekey
  sak-rekey-time 1800
tunnel-encryption peer-ip 7.7.7.7
  pki policy system-default-tunenc-policy

interface Ethernet1/20
  tunnel-encryption

interface Ethernet1/21
  tunnel-encryption

interface Ethernet1/25/1
  tunnel-encryption

```

次の例は、アウトバウンドルートマップを設定して、BGW のパスを最適なパスにする方法を示しています。この設定は、vPC BGW が BGP でピア vPC BGW の PIP アドレスを学習するときに行われます。

```

ip prefix-list pip_ip seq 5 permit 44.44.44.44/32 <<PIP2 address>>
route-map pip_ip permit 5
  match ip address prefix-list pip_ip
  set as-path prepend last-as 1
neighbor 45.10.45.10 <<R1 neighbor - Same route-map required for every DCI side underlay
BGP peer>>
  inherit peer EBGW-PEERS
  remote-as 12000
  address-family ipv4 unicast
  route-map pip_ip out

```

VIP を使用するマルチサイトから PIP を使用するマルチサイトへの移行

VIP を使用するマルチサイトから PIP を使用するマルチサイトにスムーズに移行するには、次の手順を実行します。移行は一度に 1 つのサイトで実行する必要があります。移行中のトラフィック損失は最小限に抑えることができます。

1. すべてのサイトのすべての BGW を Cisco NX-OS リリース 9.3(5) 以降のリリースにアップグレードします。
2. すべての BGW で BGP 最大パスを設定します。これは、ESI ベースの MAC マルチパスおよび BGP が EVPN タイプ 2 およびタイプ 5 ルートのすべてのネクスト ホップをダウンロードするために必要です。
3. 移行するサイトを 1 つずつ選択します。
4. 1 つの BGW を除き、同じサイトの BGW をシャットダウンします。NVE **shutdown** コマンドを使用して、BGW をシャットダウンできます。
5. トラフィックの損失を回避するには、アクティブな BGW で PIP を備えたマルチサイトを有効にする前に数分間待機します。これにより、同じサイトのシャットダウン BGW が EVPN ルートを取り消すことができるため、リモート BGW はアクティブ BGW だけにトラフィックを送信します。
6. **dci-advertise-pip** コマンドを設定して、アクティブな BGW で PIP を使用したマルチサイトを有効にします。

PIP 対応 BGW を備えたマルチサイトは、仮想 ESI の EVPN EAD-per-ES ルートをアドバタイズします。

PIP 対応 BGW を備えたマルチサイトは、仮想 ESI、ネクスト ホップを PIP アドレス、PIP インターフェイス MAC を RMAC (該当する場合) として DCI にアドバタイズします。ファブリックへの EVPN タイプ 2 およびタイプ 5 ルートのアドバタイズに関する変更はありません。

MAC ルートが ESI で受信されると、リモート BGW は ESI ベースの MAC マルチパスを実行します。

7. **dci-advertise-pip** コマンドを入力して、同じサイトの BGW を一度に 1 つずつ解除し、PIP でマルチサイトを有効にします。

ESI はすべての同じサイト BGW と同じであるため、リモート BGW は MAC ルートの ESI ベースの MAC マルチパスを実行します。

リモート BGW では、BGP はパスをマルチパスとして選択し、EVPN タイプ 5 ルートのすべてのネクスト ホップをダウンロードします。

既存の vPC BGW の移行

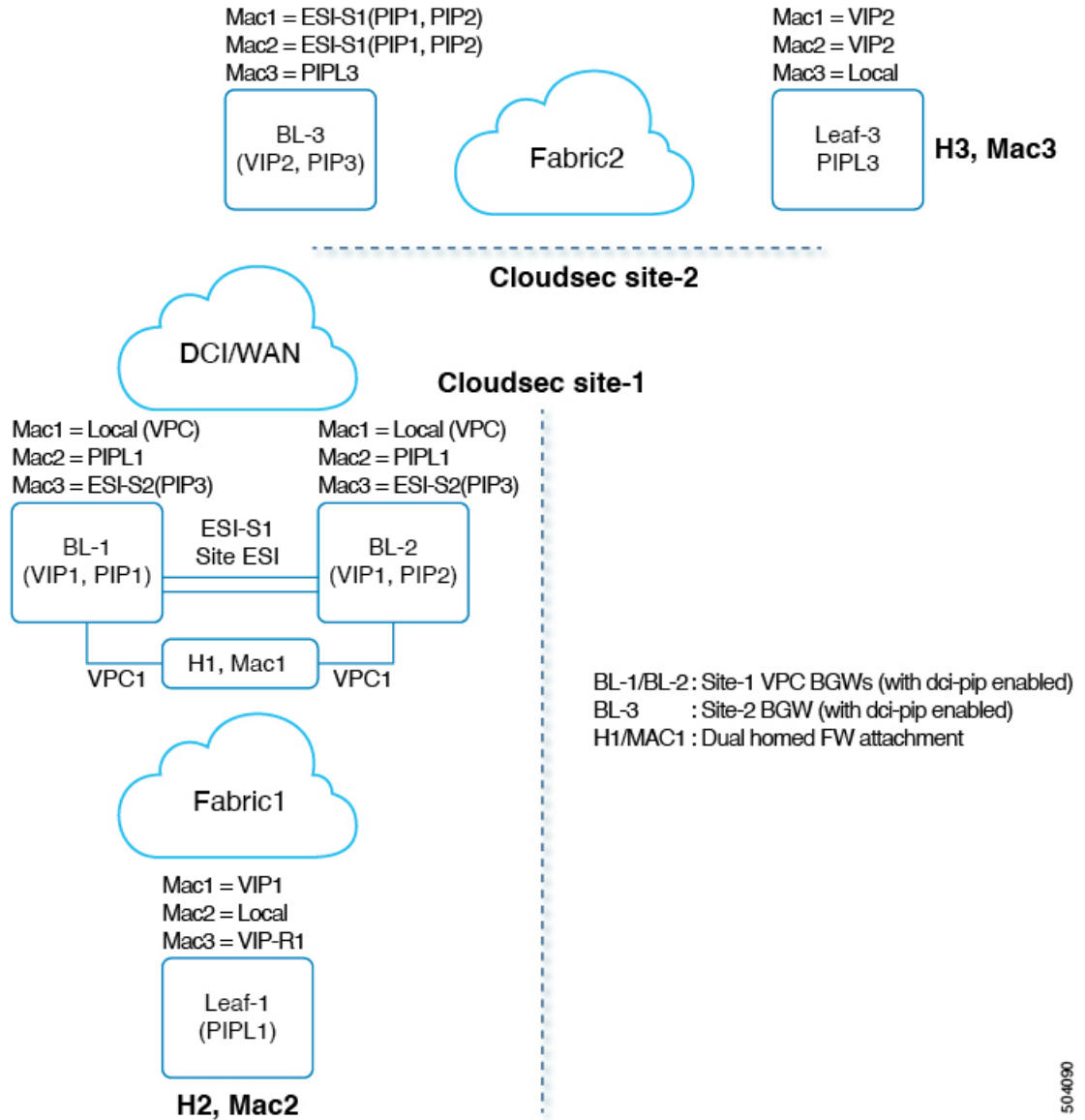
Cloudsec を使用できるように、既存の vPC BGW をスムーズに移行するには、次の手順に従います。移行は一度に1つのサイトで実行する必要があります。移行中のトラフィック損失は最小限に抑えることができます。

1. 両方の vPC BGW を、vPC Cloudsec が更新された最新のイメージにアップグレードします。
2. vPC セカンダリのインターフェイス `nve1` をシャットダウンします。
3. vPC プライマリで `dci-advertise-pip` を有効にします。
4. インターフェイス `nve1` がまだ vPC セカンダリでシャットモードになっている状態で、vPC セカンダリで `dci-advertise-pip` を構成します。
5. vPC セカンダリのインターフェイス `nve1` のシャットダウンを解除します。

Cloudsec の vPC ボーダー ゲートウェイのサポート

次のトポロジは、Cloudsec の vPC ボーダー ゲートウェイ (BGW) のサポートを示しています。

図 1: Cloudsec の vPC BGW サポート



50-4090

vPCは、BGWへのデュアルホームアタッチ/接続です。BGWは冗長性のための単一のVXLANエンドポイントとして仮想的に機能し、両方のスイッチは共通のエミュレート/仮想IPアドレス(VIP)を共有することによってアクティブモードで機能します。DCI上のVXLANカプセル化は、BGW VTEPのプライマリIPアドレスに基づいています。

上記のトポロジでは、ホストH1/MAC1は、Cloudsec対応のvPC BGW BL-1/BL-2にデュアルホーム接続されています。H1は、ファブリックへのvPC BGW(VIP1)のセカンダリループバックIPアドレスで引き続きアドバタイズされます。ただしDCIに対しては、BL-1/BL-2の両方がPIPとしてネクストホップを使用してH1をアドバタイズし、サイトESIもタイプ2NLRIに追加されます。

エニーキャストおよび vPC BGW の Cloudsec 機能の場合、dci-advertise-pip はタイプ 2/タイプ 5 ルートが DCI にアドバタイズされる方法に関して、BGP 手順を変更するように構成されています。サイト内部ネットワークから受信したすべてのタイプ 2/タイプ 5 ルートは、vPC BGW の PIP としてネクストホップを使用して DCI にアドバタイズされます。

両方の vPC BGW は、それぞれのプライマリ IP アドレスを使用してルートをアドバタイズします。Site-ESI 属性が Type-2 NLRI に追加されます。vPC BGW 上のすべてのデュアル接続ホストは、PIP としてネクストホップでアドバタイズされ、サイト ESI 属性は DCI を介して接続されます。すべての孤立ホストは、DCI への PIP としてネクストホップでアドバタイズされ、サイト ESI 属性は付加されません。

vPC BGW がピア vPC BGW の PIP アドレスを学習し、DCI 側でアドバタイズする場合、両方の vPC BGW からの BGP パス属性は同じになります。したがって、DCI 中間ノードは PIP アドレスを所有していない vPC BGW からのパスを選択することになる可能性があります。このシナリオでは、リモートサイトからの暗号化されたトラフィックに MCT リンクが使用されます。vPC BGW BGP は、次の場合にピア vPC BGW の PIP アドレスを学習します。

- iBGP は vPC BGW 間で構成されます。
- BGP は、ファブリック側のアンダーレイ ルーティング プロトコルとして使用されます。
- アンダーレイ ルーティング プロトコルとして使用される IGP、および IGP ルートが BGP に再配布されます。

vPC BGW が BGP でピア vPC BGW の PIP アドレスを学習する場合、アウトバウンドルートマップを構成して、BGW のパスを最適なパスにする必要があります。

リモートサイト BGW では、直接接続された L3 ホストは両方の vPC BGW から学習されます。通常直接接続された BGW からのパスは、AS パスが低いため優先されます。L3 ホストまたは L3 ネットワークが vPC ペア BGW に二重接続されている場合、ローカルパスは両方の vPC ペアで選択されます。

vPC BGW CloudSec 展開の拡張コンバージェンス

従来、単一のループバック インターフェイスは NVE 送信元 インターフェイスとして設定され、vPC コンプレックスの PIP と VIP の両方が構成されています。Cisco NX-OS リリース 10.3(2)F 以降では、CloudSec 対応の vPC BGW に個別のループバックを構成できます。vPC 展開でのコンバージェンスを向上させるために、NVE の下で送信元とエニーキャスト IP アドレスに個別のループバック インターフェイスを使用することをお勧めします。送信元インターフェイスに構成されている IP アドレスは vPC ノードの PIP であり、エニーキャストインターフェイスに構成されている IP アドレスはその vPC コンプレックスの VIP です。NVE エニーキャスト インターフェイスも構成されている場合、NVE ソース インターフェイスで設定されたセカンダリ IP は効果がないことに注意してください。

個別のループバックを使用すると、DCI 側を宛先とするデュアル接続 EVPN タイプ 2 およびタイプ 5 トラフィックのコンバージェンスが改善されます。

エニーキャスト インターフェイスへの移行

ユーザーがエニーキャスト インターフェイスを指定したい場合、ユーザーは既存の送信元 インターフェイスを構成解除し、送信元 インターフェイスとエニーキャスト インターフェイスの両方で再構成する必要があります。これにより、一時的なトラフィック損失が発生します。すべてのグリーンフィールド展開では、指定されたコンバージェンスの問題を回避するために、送信元 インターフェイスとエニーキャスト インターフェイスの両方を設定することをお勧めします。

vPC BGW CloudSec 展開用の拡張コンバージェンスを使用した NVE インターフェイスの構成

ユーザーは、vPC BGW の NVE 送信元 インターフェイスとともにエニーキャスト インターフェイスを指定する必要があります。現在の VXLANv6 展開では、送信元 インターフェイスとエニーキャスト インターフェイスの両方を指定するプロビジョニングがすでに存在しています。VXLANv4 の vPC コンバージェンスを改善するには、エニーキャスト オプションが必須です。

設定例：

```
interface nve <number>
    source-interface <interface> [anycast <anycast-intf>]
```

iBGP セッションの要件

アンダーレイ IPv4/IPv6 ユニキャスト iBGP セッションは、vPC BGW ピア ノード間で構成する必要があります。これは、vPC BGW での DCI 分離中のキー伝播に対応するためです。

PSK CloudSec 構成から証明書ベース認証 CloudSec 構成への移行

自動キーイングへの移行中は、サイトが新しい構成または機能リストに移行している間、VTEP 間セッションでクリアトラフィックを送受信することが期待されます。この間、暗号化されていないトラフィックがセッションでドロップされないように、ポリシーを **should-secure** とし構成する必要があります。

1. すべてのノードで tunnel-encryption 設定を **should-secure** に変更します。
2. 一度に 1 ノードずつ移行を実行します。
3. ピアからキーチェーンと cloudsec ポリシーを削除します。
4. SSL 証明書を使用する場合は、有効な CA を使用してトラストポイントと証明書を構成するか、または SUDI 証明書を構成します。
5. トラストポイントを Cloudsec に接続します。
6. cloudsec ポリシーをピアに適用します。
7. すべてのノードが自動キーイングに変更されたら、必要に応じて構成を **must-secure** に変更します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。